

考古学教室

① 麻ひものブレスレットをつくろう!

日時 7月25日(日) 1回目 13:30~14:45  
2回目 15:00~16:15  
場所 資料館工作室 講師 資料館職員  
対象 小学生以上 定員 各回とも4人(先着順)  
参加費 無料(入館料必要)  
申込み 資料館受付にて申込み  
1回目13:15~13:30まで  
2回目14:45~15:00まで

② 和同開珎をつくろう!

日時 8月1日(日) 1回目 13:30~14:45  
2回目 15:00~16:15  
場所 資料館工作室  
対象 小学生・中学生(小学2年生以下は保護者同伴)  
定員 各回とも4人(先着順)  
参加費 200円(入館料を含む)  
申込み 当日資料館受付で申込み  
1回目13:15~13:30まで  
2回目14:45~15:00まで

③ 埴輪をつくろう!&土器をつくろう!

日時 8月8日(日) 13:30~16:00  
場所 寺田コミュニティセンター美術工芸室  
講師 志津川陶芸教室 梅原武平氏  
対象 小学生・中学生(小学2年生以下は保護者同伴)  
定員 10人(先着順)  
参加費 600円(入館料を含む)  
申込み 7月16日(金)10時より  
電話または来館にて申込み

勾玉教室

勾玉をつくろう!

日時 7月18日(日)、8月29日(日)  
1回目 13:15~14:45  
2回目 14:50~16:20  
場所 資料館工作室  
講師 資料館職員・資料館友の会ボランティア  
対象 小学生・中学生  
(小学2年生以下は保護者同伴)  
定員 各回とも4人(先着順)  
参加費 200円(入館料を含む)  
申込み 当日資料館受付にて申込み  
1回目 13:00~13:15まで  
2回目 14:35~14:50まで

ギャラリートーク(展示解説)

夏季特別展を担当学芸員がご案内します。  
日時 8月21日(土)、28日(土)  
14:00~15:00  
場所 資料館特別展示室  
定員 なし 対象 小学生以上  
参加費 無料(入館料必要)  
申込み 当日資料館受付で申込

入館・イベント参加に際してのお願い

※マスクを着用してください。  
※発熱や風邪症状のある方はご遠慮ください。  
※今後の状況によりイベントを延期または中止する場合がありますので、その際は当館ホームページでお知らせします。

■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)  
祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)  
12月28日~1月4日

■観覧料 おとな 200円(140円)  
小・中学生 100円(70円)  
<団体料金>おとな 160円(110円)  
小・中学生 80円(50円)  
※団体は20名様以上  
※( )内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料

<次の方は観覧料が免除されます>

- ★城陽市内在住の65歳以上の方
- ★城陽市内在住の小・中学生
- ★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
- ★城陽市外の小・中学校の団体観覧(ただし、児童・生徒のみ)



HPIはこちら



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

★印は入館無料!!!

夏季特別展 開催

夏季特別展 最終日

夏季特別展 開催							夏季特別展 最終日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	★2	3	4	5	6	7
4	★5	6	7	8	9	10	8	9	★10	★11	12	13	14
11	★12	13	14	15	16	17	15	★16	17	18	19	20	21
18	★19	★20	★21	★22	★23	★24	19	★20	★21	★22	★23	★24	★25
25	★26	★27	★28	★29	★30	★31	29	★30	★31				



五里ごり館  
開館カレンダー  
印は休館日



五里ごり館通信

五里ごり館

城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)  
〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地  
TEL0774-55-7611 FAX0774-55-7612



令和3年度夏季特別展

城陽の鉄道物語  
思い出の駅と車両



なつかしの鉄道大集合!!  
歴史民俗資料館へGO!!

令和3年 7月17日(土) 最終日  
9月5日(日) 入館無料!



期間中の休館日 7月19・26・27・28日、8月2・10・11・16・23・30日

文化財講演会

①第88回 7月18日(日)  
「奈良鉄道からJRへ~奈良線の歩み~」  
講師 鉄道友の会京都支部会員 高田 圭氏  
②第89回 8月22日(日)  
「奈良電よもやま話」  
講師 鉄道友の会京都支部副支部長 島本 由紀氏  
①②共通  
時間 14:00~15:30(受付13:30~)  
場所 文化パルク城陽第3会議室(西館3階)  
定員 ①②各30人 参加費 無料  
申込み ①7月16日(金)10:00~ ②8月17日(火)10:00~  
電話または来館にて申込み

自分のNゲージを走らせよう!

展示期間中、展示室で自分のNゲージ車両を走行できます  
日時 8月3日(火)~8月29日(日) 11:00~16:00  
場所 資料館 特別展示室(西館4階)  
参加費 無料(入館料必要)  
申込み 随時電話または来館にて申込み  
※Nゲージ持参 ※イベント等のある時はできません

プラ板で鉄道のキーホルダーをつくろう!

日時 7月31日(土)・9月5日(日)  
1回目13:30~14:15 2回目14:30~15:15  
場所 資料館工作室前(西館4階)  
定員 先着各日8人(各回4人)  
参加費 無料(入館料必要)  
申込み 当日1回目13:00~13:30 2回目14:00~14:30  
資料館受付にて申込み  
(定員に達した時点で終了)



①~⑩の写真ネームは  
中面に記載しています

入館・イベント参加に際してのお願い

・マスクの着用をお願いします。  
・発熱や風邪の症状がある方は入館をご遠慮ください。  
・今後の状況により、イベントを延期または中止する場合がありますので、その際は当館ホームページでお知らせします。

背景:列車運行図表

# 城陽市内の鉄道の駅

## — 6つの物語 —

城陽

じょうよう

Joyo

### 久津川

くつかわ

Kutsukawa

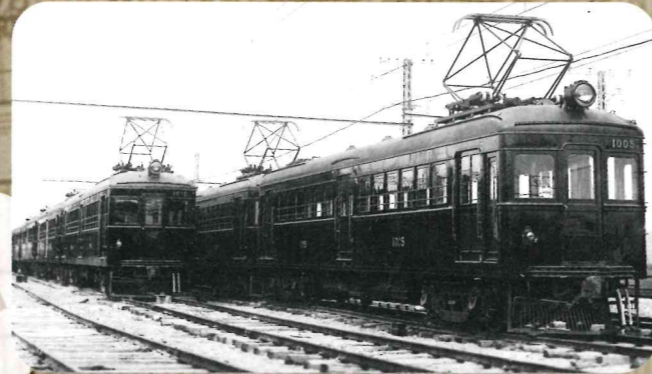
南山城で最大規模の前方後円墳である久津川車塚古墳を初めとする久津川古墳群を見学する玄関口として利用されている久津川駅。意外にも奈良電鉄（現在の近鉄京都線）の頃は、芋狩りの最寄り駅でもありました。城陽市域西部に広がる荒州の芋畑は現在よりもずっと北まで広がっていたようです。



奈良電木津川水泳場のPR車両 デハボ1012 昭和30年代 近鉄グループホールディングス株式会社提供

### 近鉄京都線

### JR奈良線



田辺車庫で開業を待つデハボ1005 昭和3年(1928年)10月 近鉄グループホールディングス株式会社提供



城陽駅開業 昭和33年(1958年)

### 寺田

てらだ

Terada

昭和3年(1928年)に奈良電鉄が開通する1年前、寺田駅をどこに設置するかで奈良電鉄と寺田村は意見が対立しました。奈良電側は土地の起伏など線路工事のしやすさから、村の西部を通るように路線変更を進めました。寺田村はそれを知り、あわててこれまで通り村の東部を通る路線のままで工事するよう訴えましたが、時すでに遅し。結局村の西側の現在の場所に寺田駅が設置されました。村の意見が通って東部に寺田駅ができていたら、城陽市域はまた違った発展をしていたかも知れませんね。

### 長池

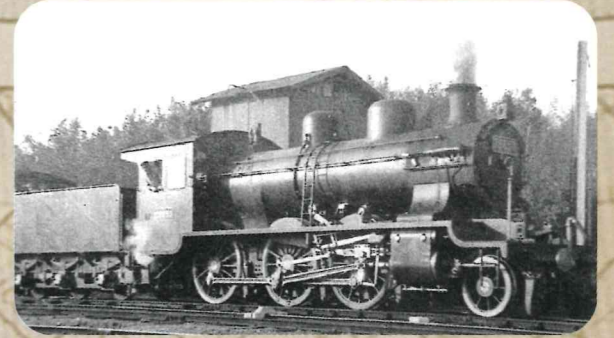
ながいけ

Nagaike

明治29年(1896年)に奈良鉄道が開通する時、長池は常設の駅が最初から設置されました。それもそのはず、長池は江戸時代から大和街道の宿場町として人や物が往来する場所だったのです。奈良鉄道でも長池駅は京都駅と奈良駅のちょうど真ん中地点にあたるとして、水や燃料の補給のために転車台や給水塔が設置されました。



城陽駅 昭和57年(1982年) 田部富男氏撮影



長池駅に停車中の蒸気機関車 8620 (撮影年不明) 放示忠之氏提供

### 富野荘

とのしょう

Tonosho

奈良電鉄の駅名は、久津川も寺田も富野荘も開通当時の村の名前です。この内、寺田は近世からの村名なので住所の大字名に残っています。久津川と富野荘は明治の町村合併でできた村名で、久津川は小学校名にも残っていますが、富野荘の名前は駅名にしか残っていません。駅名からも地域の歴史をうかがい知ることのできる例と言えるでしょう。



文化パーク城陽前を走る近鉄電車 香川正徳氏撮影



新田辺-富野荘間を走る京都地下鉄開業10周年車両 平成3年(1991年) 香川正徳氏撮影

### 山城青谷

やましろあおだに

Yamashiro-Aodani



青谷梅林仮停車場は、大正15年(1926年)2月13日に梅の花見の時期だけ開設する臨時停車場として設置されました。その後、青谷村が常設の駅設置のための土地と建設費をすべて負担することで、昭和8年(1933年)12月1日に山城青谷駅が誕生しました。

青谷梅林の観梅は大人気となり、今に残る絵葉書や写真からもその人気をうかがい知ることができます。



青谷梅林仮停車場 大正15年(1926年) 島本昌幸氏提供

表紙の写真は ①奈良線電化記念号 香川正徳氏撮影 ②山城青谷駅-山城多賀駅間のトンネルを走る蒸気機関車 昭和46年(1971年)4月 小菅一己氏撮影 ③長池駅 小菅一己氏撮影 ④Nゲージ 蒸気機関車 個人蔵 ⑤沿線案内 宇治市歴史資料館蔵 ⑥HOゲージ しまかぜ 近鉄グループホールディングス株式会社蔵 ⑦特急12200系ヘッドマーク 近鉄グループホールディングス株式会社蔵 ⑧Nゲージ ドクターイエロー、700系レールスター 個人蔵 ⑨モ600車両プレート 近鉄グループホールディングス株式会社蔵 ⑩エリザベス英女王ご乗車 お召列車 近鉄グループホールディングス株式会社提供 ⑪奈良電気沿線名所図録 宇治市歴史資料館蔵・提供 ⑫近鉄・京都地下鉄相互直通運転記念号 香川正徳氏撮影